



政府統計

報道関係者 各位

平成 27 年 1 月 22 日

【照会先】

大臣官房統計情報部人口動態・保健社会統計課世帯統計室

縦断調査管理官 越路 幹男

室長 補佐 坂田 朗広

(担当) 出生児縦断統計第二係 (内線 7566)

(代表電話) 03(5253)1111

(直通電話) 03(3595)2321

## 第3回 21 世紀出生児縦断調査(平成 22 年出生児)の結果

厚生労働省では、このほど、同じ集団を対象に毎年実施している「21 世紀出生児縦断調査(平成 22 年出生児)」の第 3 回(平成 24 年)結果を取りまとめましたので、公表します。

21 世紀出生児縦断調査(平成 22 年出生児)は、平成 22 年 5 月 10 日から同月 24 日に生まれた子どもについて、生活実態や経年変化の状況を継続的に観察するとともに、平成 13 年出生児との比較を行うため、保護者に協力を依頼しているもので、少子化対策などの施策のための基礎資料を得ることを目的としています。

第 3 回調査は、平成 24 年 12 月 1 日現在の状況について調査を行い、37,582 人のうち 32,380 人から有効回答を得ました。調査時点での子どもの年齢は 2 歳 6 か月です。

### 【調査結果のポイント】

#### ○ 母の就業状況の変化

・母の有職の割合は第 1 回調査から毎年増加し、第 3 回調査では 46.5%で、第 3 回平成 13 年出生児調査(平成 15 年調査)の 35.0%に比べ、11.5 ポイント高い(3 頁 図 1)

注:第 1 回調査から第 3 回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者を集計。

#### ○ 子育ての相談相手

・親族や友人・知人以外の子育ての相談相手としては、母が有職である場合は「保育士」39.7%、母が無職である場合は「親子ひろば・子育てひろばなどの職員」12.9%が高い(6 頁 図 4)

注:第 1 回調査から第 3 回調査まですべて回答を得た者で、ずっと「母と同居」の者のうち就業状況「不詳」を除いた者を集計。

#### ○ 子どもの朝起きる時間・夜寝る時間

・第 3 回平成 13 年出生児調査(平成 15 年調査)に比べ、早寝早起きの傾向(7 頁 図 5、8 頁 図 7)

朝起きる時間：	午前 6 時台	30.5%	( 18.1%)
	午前 7 時台	46.9%	( 46.5%)
	午前 8 時台	14.8%	( 22.6%)

夜寝る時間：	午後 8 時台	17.2%	( 10.4%)
	午後 9 時台	49.2%	( 39.2%)
	午後 10 時台	24.0%	( 31.8%)

注:括弧内の数値は、平成 13 年出生児調査の結果である。

※詳細は、別添概況をご覧ください。